

小学1・2年生の家庭学習の手引き

かていがくしゅうとは しゅくだいや じぶんでおこなうがくしゅう
すべてのことをいいます。

テレビをけて がくしゅうしましょう

まいにち きめたじかに じぶんから

かならずしましょう!

- しゅくだいをする
- あしたのじゅんびをする

○えんぴつを けずる

じぶんで すすんで とりくみましょう

たとえば…

- れんしゅうする
 - ・ひらがな、カタカナ、かんじ
 - ・とけいを見て じかんをいう
- ほんをよむ
- しらべる
 - ・ずかんやじてんで しらべる

・おんどく、けいさん



・いきものやくさばなを かんさつする

**家庭学習の 習慣を付けましょう**

おうちのかたへ

この時期の子どもは…

- 頑張ったこと、よいところを大人にほめてほしいと思っています。
- 何にでも興味を持ち、知りたがります。
- 1人で学習することや、やり方を決めるのは、まだ難しいです。
- まだ自分中心で、まわりの人のことを考えて行動できないときもあります。

ほめられたり喜んでもらったりすることで 勉強やお手伝いが習慣づいていきます

勉強やお手伝いをして家族からほめられたり、家族が喜ぶ姿を見たりして、子どもは家族に役立ったことや自分の成長を実感し、学ぶことやお手伝いをするに喜びを感じます。その喜びが、次もやってみようという意欲につながります。まずは、子どものそばについて、子どもの頑張りをしっかりと認めたり、ほめたりして、子どもの意欲を高め、習慣となるようにしましょう。